



967号
2023年11月7日
郵政産業労働者ユニオン
呉支部発行



←中国地本HPへ
PC・スマホ等から
この情報が閲覧可！



メールはこちら→

正社員確保の重要性

登用試験一次合格者数

2024年度採用の登用試験が行われ、一次試験の結果が出た。

人数は左図の通りだが、正社員登用の受験人数が減っている。

前回は8,330人が応募したが、今回は6,800

2人と1,528人も減少している。

一般職という正社員制度が出来て、10年近くになるが、労働条件が良くない事が受験人数の低下を招いている。

正社員でありながら、一般職では、住居手当で支給が無く、定期昇給額が少ないなど、地域基幹職との格差がある。

正社員となった事で、付与されていた夏期・冬期休暇の各3日が、多少の基本給上昇と引き換えで各1日に削減されるなど、正社員となっても肩身の狭い思いをしている。

スキル評価がAランクである社員が、毎月の手取り額を考慮して受験しない判断をしない様に、一般職の手取り額引上げは必須である。

コース転換試験

一般職から地域基幹職へのコース転換試験も行われている。

郵便コース・窓口コースは採用予定数が前年の2倍となっている。

Table with 4 columns: 会社名, 応募者数, 一次合格者数, 採用予定数. Rows include 日本郵政(株), 日本郵便, (株)ゆうちょ銀行, (株)かんぽ生命, and 合計.

Table with 3 columns: 一般職から地域基幹職へのコース転換予定数, 日本郵便(株), (株)ゆうちょ銀行, (株)かんぽ生命, 日本郵政(株). Rows show 予定数 and specific counts for each company.

挑戦できる社員にとって今年度は合格しやすい年となっている。

受験要件として、直近2年間の内、人事評価結果が1回以上S査定である事という難題をクリアして、更に試験という点からもコース転換は非常に厳しい条件となっている。

また、訓告以上の懲戒処分を受けていない事も要件にある為、郵便事故だけでなく、交通事故にも注意が必要だ。

過失がない場合を除き、交通事故でも懲戒処分があるからだ。

会社が優秀な社員としてS査定を出しているのだから、S査定であれば、本人希望でコース転換を認める方針が望ましい。

一時しのぎの政策案

来年のボーナス時期に、納税世帯には一人当たり4万円の定額減税、住民税非課税世帯には一世帯当たり7万円の給付を行う案が出ている。

減税や給付は一時的な対策で、その後、増税となる懸念がある。

一時的な減税・給付対策ではなく、全国一律1,500円以上の最低賃金対策の方が国民生活は安定し易い。

今こそ政府主導の賃金改善が必要な時期である。内部留保ばかり増やす企業には増税を行い、設備投資や利益還元には減税というやり方もある。

企業からの多額献金を期待した企業擁護政策では、国民生活の改善は期待できない。

エレベーター問題

呉郵便局では、10月16日から、11月17日まで、エレベーター工事が行われている。

その為、郵便物などは階段を経由する事になった。

郵便物を運搬する派遣社員も配置されたが、重量物を持つての階段移動は重労働である。

年末調整や歳暮関連のカタログ配送時期に重なり、郵便も重たい。

汗だくになりながら、運搬してくる派遣社員の皆様には感謝しかない。

11月に25度の夏日を記録する異常な暑さに加え、エレベーターが使えない不便な一カ月間。

階段の踏み外し等による労災が起きず、通常業務に戻る日が待ち遠しい。

今後の予定

- 11月11日(土) 10:00~ みらい講座 広島オフィスセンター第A会議室
11月14日(火) 17:00~ 第2回呉支部執行委員会 支部事務所
11月24日(金) 18:00~ 呉支部忘年会 鳥長(参加費2千円) 出欠は3F事務所か役員に 早めにお願ひします
次号は 11月21日 予定